



北九州テクノサポート通信

Kitakyushu Techno-Support

北部九州地域の産業発展に貢献する



NPO法人 北九州テクノサポート

〒804-0003北九州市戸畑区中原新町2番1号

TEL: 093-873-1453 FAX: 093-873-1453

E-Mail: npo-kts@npo-kts.org.jp URL: http://www.npo-kts.org/

Vol.22

平成26年 冬号

新年のご挨拶

NPO法人 北九州テクノサポート 会長 石川 浩



新年明けましておめでとうございます。

昨年は新政権のもと、我が国経済が確実に回復への道筋を歩み出した年だと思います。

9月には2020年の東京五輪招致に成功して日本全体に明るい話題を提供し、経済活動へも明るさが戻ってきた感があります。その一方で原発の運転停止による液化天然ガス、原油の大量輸入により貿易収支の赤字幅が大幅に拡大し、また大企業の生産拠地の海外移転が進み、円安がそのまま輸出の増大につながらない等々中小企業の皆様には不安要素がありますが、今年は真の実力が試される年であると思います。

このような状況下で、NPO法人北九州テクノサポートは中小企業の皆様をはじめ、九州経済産業局、福岡県、北九州市、(公財)北九州産業学術推進機構、北九州商工会議所、等々多くの関係団体、および大学、高専、等の皆様のご支援の下、これまで積み上げてきました実績をベースとして今年も活動を展開する所存です。

昨年は、(公財)西日本産業貿易コンベンション協会様との協働による「中小企業テクノフェア」での出展企業(川上企業)と地元企業(川下企業)とのビジネスマッチング事業は5年目を迎え、川下企業訪問数、商談・面談数 共に、過去最高の数字を達成しました。

なお、従来の「福岡ものづくりアドバイザー(福岡県商工部)」、「FAIS中小企業支援センター登録アドバイザー」に加えて、昨年4月からは北九州商工会議所の専門相談員制度に入会し、会員登録を行って支援活動を開始しております。

また、(公財)北九州活性化協議会が中心となって推進中の「産業人材育成フォーラム」におけるコーディネーターとしての活動も昨年同様、積極的に継続推進致します。

これまでの、技術開発・新製品開発に結び付く産学連携支援、エコ商品(エコプレミアム認定商品・サービス)の販売促進支援、環境経営や環境技術の開発・導入支援、エコアクション21の普及 etc. は勿論のこと、それらに加えて更に支援活動範囲を広げ、産業振興とまちづくりへ微力ながら貢献していきたいと考えております。

会員はシニア世代が殆どですが、情熱年齢はまだまだ若いです。関係諸機関および地域企業の皆様のご厚情に深く感謝を申し上げますと共に、本年もよろしくお願い申し上げます。

Topics.1 新規事業の紹介

北九州商工会議所は「ものづくり中小企業」に対する支援強化に乘出しKTSに技術協力要請

昨年3月、北九州商工会議所(以降商議所という)は中小企業庁からの「ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援補助金」などの認定支援機関としての認定を受け「ものづくり支援」に大きな一歩を踏み出し大きく地域貢献する戦略を表明した。商議所はKTSを当所のアドバイザー団体として、中小企業の「ものづくり支援」の面において、中小企業の試作開発支援補助金の申請、生産・技術開発およびビジネスマッチング等に関する技術支援アドバイザーへの就任を願い出て、昨年4月にKTSは了承して具体化の手続きに入った。

両者で制度の確認、個人登録、連絡体制、商議所・KTS(窓口1名・相談員4名)の担当などの取り決めを行った。そして10月KTSは商議所に会員として正式入会した。

KTS全会員(約70名)に対して、経歴・資格・支援可能な分野などの調査票の作成とアドバイザー登録希望の可否を調査しその結果約40名が商議所アドバイザー登録を行うことになった。

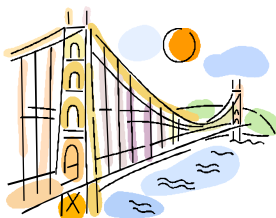
また、商議所からの要請により、昨年11月18日および29日の2回に渡り、商議所の相談員(合計約40名=職員の約半数)に対してKTSのアドバイザー実績や事例に関する説明会を行った。

これまでに試作開発支援補助金申請の支援並びに技術開発支援・調達先紹介・ビジネスマッチング等8件の専門相談員によるアドバイザー依頼があり受託して実行している。今後、小規模事業者も含めて千差万別な案件が予想されるが、基本的な取組み姿勢として、真の企業ニーズにマッチした支援を心掛けていきたいと考えている。KTS内はもちろん、商議所と一体となった取組み努力が必須である。北九州地域活性化



謹賀新年

平成二十六年 正月 理事一同



会長 石川 浩
事務局長 小林敏郎
副会長 重藤将美、安東 静、藤原利久
理事 影山隆雄、藤原成種、堤 増美、藤崎正昭
石井 剛、山本倅暉、松隈 齊、吉開 悟、
監事 後藤禎二、竜口康文



平成二十六年 理事一同

新年の挨拶



平成25年 新年の挨拶 北九州市長 北橋 健治

新年あけましておめでとうございます。

昨年は市制50周年を迎え、様々な記念事業を行うなど、市民の皆様と盛大に祝うことができました。

また、OECD(経済協力開発機構)から、「環境」と「経済」が両立するグリーン成長都市としてアジアで初めて選定された本市の取組みが、OECDの「北九州レポート」によって国内外に発表されるという、画期的な出来事もありました。今年は、次の50年に向けて、人や企業の集まる元気なまちづくりを進めてまいります。まず、高付加価値ものづくりクラスターの形成や海外ビジネス拠点の形成など「北九州市新成長戦略」を着実に推進し、地域経済の活性化と新たな雇用や市民所得の向上につなげます。

次に、高齢者や障害者などを含めた全ての市民が、安全・安心でいつまでも元気で自分らしく暮らせるよう、「(仮称)北九州市安全・安心条例」の制定や防災体制の整備、健康モデル都市・北九州を目指した市民の自律的・主体的な健康づくり活動への支援、認知症対策の推進、2015年度からの次期高齢者支援計画の策定などに取り組みます。

さらに、青少年の非行を生まない地域づくりなど次世代を担う子どもや若者の健やかな成長を目指した事業を推進するとともに、まちづくりを支える人材の育成を進めてまいります。また、2016年度中の完成を目指した新球技場の整備などスポーツ、芸術・文化の振興を通じて、にぎわいを創出していきます。ユネスコ(国際連合教育科学文化機関)世界文化遺産への推薦が決まった旧官営八幡製鐵所関連施設については、2015年の登録を目指し、取組みを進めてまいります。これらの施策を着実に実現していくため、近々とりまとめる行財政改革大綱の方向性に沿って、一層の行財政改革を進めます。

さて、2月9日には、本市初のフルマラソン大会「北九州マラソン」が開催されます。市制50周年記念事業のフィナーレを飾る大会として、市民が一体となって成功へ導き、新たな時代に向けた第一歩を踏み出しましょう。

新春放談 北九州の新年を語る

■株式会社 安川電機 代表取締役会兼社長 津田 純嗣



新年あけましておめでとうございます。

昨年は北九州市制50周年を迎え、様々なイベントが北九州市各地で行われ、にぎやかな1年だったかと思います。また、日本全体では、「アベノミクス」による経済効果や2020年オリンピックの開催地が日本に決定したことなどにより、活気に満ちた1年であったと感じております。

さて、私ども、安川電機は来年、2015年に創立100周年を迎えます。

そのような中、中期経営計画「Realize 100」を2013年度よりスタートさせております。創立100周年に向けて先進国の少子高齢化社会や環境エネルギー問題など、台頭する地球規模の課題に対し、当社のコア技術を活かして問題解決に取り組むことを掲げ、着実に歩みを進めております。

また、黒崎の本社事業所において、「ロボット村構想」と名付けた事業所の再編を行っております。昨年には「ロボット新第2工場・安川ロボットセンター」が完成し、着々と工事が進んでおります。今年は「ロボット信頼性センター」を完成させると共に、黒崎バイパス工事で撤去されていた本社棟の建設に着手いたします。2015年春に完成予定の「ロボット村」では製造業の可能性を体感できる場を提供し、日本の「ものづくり力」の凄さをこの北九州市から世界にアピールする機会に繋げていきたいと思っております。更に、一般の方が自由に入れる庭を設けるなどして、地域の活性化にも繋がることを願っております。

最後になりましたが、北九州テクノサポート会員の皆様にとりまして、2014年が飛躍の年になることを心より祈念いたします。

■新日鐵住金株式会社 八幡製鐵所 所長 谷本 進治



新年あけましておめでとうございます。

世界経済は、米国が順調に拡大する中で、低迷していた欧州も底打ちから回復基調となり、中国・ASEANなど新興国の伸び悩みはあるものの、全体として拡大が継続しています。日本経済についても、円高の修正による輸出の持ち直しや設備投資の顕在化、公共投資拡大などにより順調に回復しており、今後、公共投資は一巡して減少に向かうものの、概ね堅調に推移するものと見られています。

世界の鉄鋼需要は、2014年は昨年が続いて過去最高を更新し、15億2300万tに拡大する予測となっております。特にインドを含むアジアの需要は10億t前後と見込まれており、引き続き世界鉄鋼需要をけん引し、生産・消費双方で世界の3分の2を占めている状態です。

以上のように、事業環境は改善しつつありますが、中国の鉄鋼生産量は引き続き高水準の伸びが続いており、韓国においても、新高炉の稼働や高炉捲き替えがあるなど、国内・ASEAN地域への輸出圧力がますます強まっていることが懸念となっております。

そのようななかで、今後も引き続きお客様・関連業界の皆さまのご協力をいただきながら九州経済を盛りたてられるよう、まずは本年1月下旬に控えた高炉改修工事の無災害完工と、お客様への安定供給に万全を期するとともに、本年4月の八幡製鐵所と小倉製鐵所の統合に向けて、新生「八幡製鐵所」として新たなスタートを円滑に切れるよう努めて参ります。今後も地域の皆様に信頼される製鐵所であり続けることをあらためてお約束するとともに、地域の一員として、北九州の発展に尽力していく所存であります。今後とも、皆様のご支援をお願い申し上げます。

北九州地域のモノづくり企業の紹介

■北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介いたします。

■賛助会員の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPR←募集中>
NPO-KTS通信Vol.22広告1-2



大光炉材は、ユーザーニーズへの迅速・確実なレスポンスをモットーに、独自の技術開発力を武器にダイナミックな展開をしています。

経営理念【社是】

私たちは、国家社会を支える重要な仕事をもつことを誇りとし、きびしい自己反省とたゆまぬ創造開発によって会社の発展と人間幸福の実現に努力します。



大光炉材株式会社

本社：〒804-0054 北九州市戸畑区牧山新町1-1
TEL：093-871-1631(代) FAX:093-883-2151
<http://www.taiko-ref.com>



株式会社 有菌製作所



当社は、「人生にやさしい」福祉・医療器具の総合メーカーです！

■当社は、障害児・者及び高齢者の必要とする義肢装具サービスの提供します。

代表取締役 有菌 央



〒805-8538 北九州市八幡東区東田1-7-5
TEL:(093) 661-1010/FAX:(093) 661-1670
<http://www.arizono.co.jp/>

新春随想



平成25年 新春随想 公益財団法人北九州産業学術推進機構 理事長 國武 豊喜
新年 あけましておめでとうございます。

皆様には日頃より公益財団法人北九州産業学術推進機構(FAIS)の事業にご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年、北九州市は、アジアの中核的な産業都市として、持続的な発展・成長を目指し、新成長戦略を策定しました。ものづくりの分野では、自動車・ロボット・環境の3つの産業を柱に雇用の拡大を目指しています。

FAISは、これを実現するため、北九州学術研究都市を中心とした知的基盤の整備、産業と学の出合いの場の創出、技術開発のコーディネイトなどに取り組んでいます。特にロボット産業分野では、昨年10月、北九州学術研究都市内に「産業用ロボット導入支援センター」を開設し、地域の中小企業の生産性向上に向けたロボット導入に関する専門家による助言・指導、ロボット道場での人材育成などの取り組みを始めました。

「ものづくりのまち北九州」の競争力・技術力を強化させるうえで多くの企業に活用いただきたいと考えています。

また、FAISは昨年8月に「経営革新等認定支援機関」として国の認定を受け、北九州地域の6商工会議所と4金融機関で「北九州地区中小企業支援プラットフォーム」を形成しました。この構成機関の連携によって、これまで以上にきめ細かく中小企業支援が行えるようになりました。本年もFAISは地域産業の発展のために全力で取り組んで行く所存です。

中小企業の経営力強化には、人材の育成と活用が欠かせません。優れた技術や知識をお持ちの北九州テクノサポートの皆様には、今後とも、FAISに対するお力添えをよろしくお願いいたします。

最後になりますが、本年が会員の皆様にとってよき年となりますことを心から願っております。

新春放談 北九州の新年を語る

■日産自動車九州株式会社 代表取締役社長 児玉 幸信



新年あけましておめでとうございます。

私共、日産自動車九州株式会社は、新会社とスタートして3年目を迎えます。

改めてこれまでに支えていただいた地域の皆様をはじめ多くの方々に感謝申し上げます。

日産九州では、国内NO1のミニバン「セレナ」や低燃費の「ノート」に加え、2013年12月に新型エクスト

レイルを発表しました。

日産自動車九州は、日産生産方式(NPW)により、多様化するお客様ニーズに柔軟に対応し、最高のコストパフォーマンスに加え高品質なクルマをお客さまへ約束通りの短い納期で届すことを目指しております。

ここ日産自動車九州で生まれたクルマを国内のみならず世界中のお客様にお届けしております。

そこには、社員一人ひとりの創意から生まれる工夫や改善がクルマに生かされ、深い愛情が随所に注ぎ込まれております。

これからも、心を込めたモノづくを更に高めご満足いただけるをクルマをお届けしてまいりますので、是非ご期待ください。

最後になりますが、本年も引き続きご指導ご鞭撻をお願いし新年のご挨拶とさせていただきます。

■西日本産業貿易コンベンション協会 専務理事 古賀 敬三



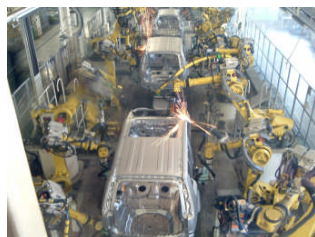
新年明けましておめでとうございます。

昨年は、北九州市制50周年と言う大きな節目の年でもあり、当協会でも福岡大恐竜博をはじめインポートフェアなど数多くの大型イベントが実施されました。その中でも10月に開催された中小企業テクノフェアin九州2013他4フェアの同時開催は、西日本最大のイベントではなかったかと思えます。これらの展示会イベントは、充実したコンベンション施設、九州の窓口である地域性などの恵まれた施設環境のもと、北九州の地域活性化への牽引や企業の振興に大きく貢献できたものと考えます。また、当協会の積極的な誘致活動と効率的な管理運営で地域のにぎわいづくりに努めてきたことも大きく関与しているものと信じております。

当協会と共に北九州の地域活性化にご努力されているNPO法人北九州テクノサポート(以下KTSと省略)の皆様には新年の冒頭に当り、ご挨拶を申しあげたいと存じます。KTSの皆様には、当協会の主催事業でもある中小企業テクノフェアin九州と言う『ものづくりの街北九州にふさわしい展示会』に於いて、5年前からビジネスマッチング事業に多大なるご協力ご支援を頂いておりますこと、改めて御礼申し上げます。

当協会も、地域活性化と共に産業の振興に貢献することを使命とし、中小企業の振興目的に開催している中小企業テクノフェアin九州の事業にKTSの皆様と一緒に全力で取り組んで参りたいと思えます。

昨年の出展社アンケートでも60%の方が「KTSによるビジネスマッチングは大変有効である。」とのありがたいご意見を頂いており、お陰様で「KTSのコーディネーターによる目的を持った企業の来場者」が年々増加し、橋渡し商談件数も過去最高の件数となってきました。誠に厚かましいお願いですが、本年も当協会にお力添えをいただきたく、心からお願い申し上げます。



北九州地域のモノづくり企業の紹介

■北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

■賛助会員の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPR←募集中>

NPO-KTS通信Vol.22広告3-4



地球高温暖化対策、CO₂削減を目的として
「2度減システム」を推進します！

代表取締役

渡邊 健司
Kenji Watanabe

カースル 株式会社

URL:<http://www.casle.co.jp>

〒800-0115 北九州市門司区新門司1丁目9-6 TEL:093-481-1212



株式会社 神垣組

神垣組(かみがきぐみ)は左官工事と、環境に配慮したモルタル・コンクリート製品の開発製造を行う会社です。

■私たちは、建築左官の伝統的技術と新素材の開発で、今後とも社会に貢献し、次世代にこの技術を残していきたいと考えます。



水辺の環境を浄化する
水草ポット
2000年・福岡産業デザイン賞優秀賞を受賞した。



水質浄化効果を持つ環境保全型
護岸ブロック、チャコケン
あさひ財団・日刊工業新聞社主催
第12回中小企業優秀新技術・新製品賞で、奨励賞を受賞した。

代表取締役 神垣 三次

<http://www.kamigakigumi.co.jp/>

〒819-0165 福岡市西区今津5413-10
TEL(092)806-6070 FAX(092)806-6070

新春随想



平成26年の新春随想 福岡県 商工部 新産業・技術振興課 課長 田代 裕靖

新年明けましておめでとうございます。皆様には、お健やかに新春をお迎えのことと存じます。

NPO法人北九州テクノサポートにおかれましては、平素から本県産業の振興に御尽力いただき、厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、我が国経済は景気回復への道を着実に歩み始め、成長の兆しが見えた年でありました。今年は、県内企業の皆様にも回復が実感できる年になりますよう、県としてしっかり支えてまいります。

また、この10年の本県経済を見ますと、我が国の国内総生産が減少している中、本県の総生産は上位10都道府県の中で唯一増加しており、1人あたりの県民所得も全国30位から16位に上昇しています。こうした経済規模の拡大も、製造業の貢献によるところが大きく、ものづくりの中心都市にあって、豊富な知識と高い技術力で企業を継続的に支援してこられた北九州テクノサポートの皆様の御尽力の賜であります。今後も引き続き、県内におけるものづくり産業振興のための大きな推進力となられますことを心から期待しております。

本県は、北九州市・福岡市とともに指定を受けた「グリーンアジア国際戦略総合特区」において、既に約550億円の設備投資と370人の新規雇用を生み出しており、国による評価においても全国7つの国際戦略総合特区の中で最も高い評価を受けています。

県としましては、今後とも北九州市と連携し、環境を軸に産業の国際競争力の強化を図り、福岡県をアジアの中で先進的な地域、また、魅力ある地域にしていきたいと考えております。今後とも皆様の御協力と御支援をお願いいたします。

今年は、午年。馬という動物は「物事が“うま”くいく」「幸運が駆け込んでくる」などともいわれる縁起のいい動物です。今年1年が皆様にとりまして、幸多く、また大きく飛躍する素晴らしい年になりますことを心からお祈りいたします。

新春放談 北九州の新年を語る

九州工業大学

学長 松永守央

新年明けましておめでとうございます。



失われた20年はアベノミクスによりインフレ基調に変わりつつあります。しかし、ポジティブスパイラルに乗せるには、様々な意識改革と工夫が必要です。資源と食糧を輸入に依存する日本が、人口減少に直面する時代に経済成長するには、新規な輸出産業の創出とともに、海外での経済活動の成功利益を国内に還元しなければなりません。

アベノミクスの第3の矢、民間投資を喚起する全員参加の成長戦略には、国内での設備投資に加えて、大規模な海外プロジェクトの実現は不可欠です。国境や業種などを越えたジョイントビジネスの時代を考えると、従来の延長線上ではない新規な理念による経済活動が世界の主流といえます。北九州市が進めるASEAN諸国におけるインフラ整備事業は、この観点から評価できます。

オープンイノベーションが進まない日本では、キャッチアップから創造の時代への移行を理解しても、実行面では大きな勘違いがあることを危惧しています。イノベーションとは新しい価値を創出することです。日本には世界に冠たる技術と魂がありますが、世界が求める新しい価値に反映できなければ、下請け国か試作国に留まります。新しい価値の創出意欲を共有する拠点を、北九州から産み出すことを提案します。

このイノベーション拠点では、組織を越えた水平統合できる空間を整備するだけでなく、価値観の発想転換を次々に創造するリーダーを配置することが不可欠です。NPO法人北九州テクノサポートの皆様には、このような観点からの活動を期待するとともに、次世代を先導する若手人材の育成に尽力されることをお願い致します。

北九州市立大学

副学長 梶原昭博

新年おめでとうございます。



昨年もまた自然災害が多い年で、10月に伊豆大島を襲った台風による土石流災害や11月にフィリピンを直撃した台風など多くの困難が私達を待ち受けていました。2011年3月の東日本大震災や福島原発事故で耳にした「想定外」という言葉は今では頻りに使われるようになり、大きな災害や事故が起こる度に想定外と言添えるだけで原因究明や責任が有耶無耶にされているように思います。技術には許されない想定外という言葉が乱用される要因の一つとして日本の文化的や政治的背景が考えられますが、これからは災害や事故を客観的に見つけ、科学的に検証する文化を構築していく必要があります。一方、国内経済に目を向けると「アベノミクス」という言葉が流行語大賞の候補に挙げられたように政治経済の変化が大きい一年でした。成長戦略などの三本の矢が放たれ、2008年のリーマンショック当時まで回復しているとのことである。しかしこれらは即効性のある景気対策であり、実体経済とは程遠く、今年こそは日本の底力を発揮する年になって欲しいと思います。

さて昨年末、本学は環境技術研究所の将来構想「ビジョン2013」を策定しました。この構想は国際環境工学部の設置目的である「地域産業の支援・活性化」「地域からの新産業の創出」「地域における人材育成」の早期の実現に向け、これから10年間の目指すべき取組みを示しています。特に環境問題や地域課題、災害対策・災害復興など本学部の強みを発揮できる研究分野を選択し、資源を集中投入して組織的な研究力を強化し、研究成果を実用化や製品化、地域の課題解決に繋げたいと思います。また大学の目的は人材育成であり、引き続き地域社会の発展に貢献できる課題解決型高度人材育成を目指します。以上のように、今年は学際的・先端的な研究拠点形成と高度人材育成という10年後を見据えた新たなビジョン実現に向けてスタートしたいと思います。また市立大学として引き続き地元産業発展に向けて取り組んで参りたいと思っておりますので皆様のご協力とご支援を宜しくお願い申し上げます。

北九州地域のモノづくり企業の紹介

北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介いたします。

賛助会員の広報コーナー

＜製品、技術、開発、人材などに関するPR←募集中＞
NPO-KTS通信 Vol.22 広告5-6



限りある資源を未来に 地球環境に貢献



株式会社コーセイジャパン

福岡県東区 9000222

ECX-NEO
水銀灯代替LED

当社はLED照明などの開発を専門とする省エネ照明のメーカーです。ECX-NEO(水銀灯代替LED照明)は電気代が80%以上削減できる高効率LED照明です。照明の省エネ診断を無料で実施中!



〒800-0313 福岡県東区御田町新築浜町1丁目16-9
TEL:093-436-6136 FAX:093-436-6141

www.kasei.co.jp



株式会社西井塗料産業
NISHI PAINT INDUSTRY CO.,LTD.

<http://www.nishii.co.jp/>

価値ある提案を通じて

産業の発展と生活文化の向上に貢献

〒812-0007
福岡市博多区東比恵3丁目4番6号

お問い合わせ ご質問・ご相談はお気軽にお寄せください
092-415-4518 eigyou-bu@nishii.co.jp

Topics.2 北九州産業人材育成フォーラムを支援

長期インターンシップ学生受入企業の開拓 3年間の実績

平成23年4月に発足した北九州産業人材育成フォーラムも3年目を終えて、下記3事業が軌道に乗り順調に活動を展開しております。KTSとしては企画部会のメンバーとして参画しており(1)、(2)の事業について積極的に協力し推進してきました。

- (1)高度人材育成プログラム(地域連携型インターンシップ事業)
- (2)社会人育成プログラム(中堅・中小企業の中核技術者及び経営管理者対象)
- (3)青少年育成プログラム(北九州市における青少年(小・中・高)を対象にした早期工学教育の地域システムの構築と体系的運営体制の整備)

特に(1)については下記に記載の通り、平成25年度は早期にスタートし、メンバーも増員してインターンシップ受入れ企業の開拓に力を入れた。

■長期インターンシップ学生(3大学・1高専)受入れ企業開拓 3年間の実績

本事業も3年目を終えて、インターンシップにエントリーする学生が大幅に増加することを想定して、毎年受入企業の開拓をKTS会員により実施推進してきました。この節目に3年間の実績と今後の展開を紹介します。

初年度は、KTS会員4名で北九州市内企業を中心に142社の企業を訪問し受入企業42社を開拓した。九州工業大学・北九州市立大学国際環境工学部の学生63名中59名が企業現場での研修を実施。

2年目は、KTS会員5名で企業開拓エリアを京築地域まで広げて215社の企業を訪問し63社の受入企業の拡大を図った。対象校も西日本工業大学・北九州高専の2校が加わり4校となった。エントリーする学生も大幅に増加し156名中121名が企業現場で研修を実施した。

3年目は、エントリーする学生が大幅に増えることを想定しKTS会員も大幅に増員し12名体制で北九州市周辺までエリアを拡大し226社の企業を訪問し受入れ企業開拓を推進した結果、インターンシップ受入れ企業81社が登録され、4校の学生164名がエントリーし123名が企業現場での研修を実施した。

上記の実績も地元中小企業の皆さん方の協力により実現する事が出来たことを心から感謝いたします。

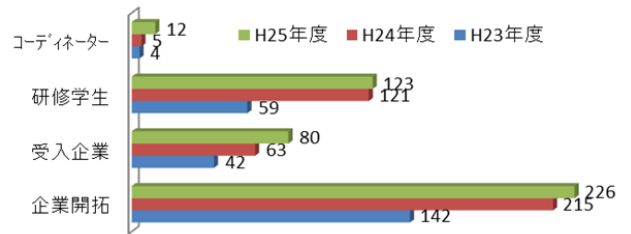
また、これからも産業人材育成のために優秀な学生が地元で活動できるように努力いたしますので、これまで同様、ご協力をお願い致します。

□今後の活動目標(平成26年度～) *IS=インターンシップ

- 事業の実施目標:研修型ISの実施(企業—100社、学生—200名)
- 連携機関・組織:工学系大学4・高専1校とIS実施企業(208社/1150社)との連携強化
- 実施上の課題と対策:IS実施企業の開拓ノウハウとIS実施・運営ノウハウの開発



インターンシップ学生受入企業開拓3年間の実績 (単位:人)



エコアクション21地域事務局福岡の活動状況

エコアクション21地域事務局福岡 事務局長 藤原成種

- (1)エコアクション21自治体イニシャティブプログラム及び関係企業グリーン化プログラムを年2回エコアクション21実践講座・集合コンサルティングと称して実施しています。30社の受講者が受講し、認証・登録へと研鑽を積んでおられます。
- (2)北九州市長感謝状付与制度が発足してから3年目となりました。エコアクション21登録事業者で市内の事業者の中から、他の模範となる成果をあげられている事業者を「環境にやさしい事業所」として市長から感謝状を授与し、その取組内容等をHP等に掲載することにより、市民や他の事業者に対して広く紹介する制度です。
今年度は、(株)千草、ジャパンスーパーコンダクタテクノロジー(株)門司工場及び上村紙業(株)の3事業者が感謝状を授与される栄誉に輝きました。
- (3)エコアクション21認証登録事業者がいかに活動を維持継続してゆかかが、大きな課題になってきています。認証取得事業者に対するフォローアップ研修会を実施する必要があるとの見地から、昨年度に引き続き、北九州市、福岡市、佐賀市及び山口県(〇〇市)で実施しました。

北九州地域のモノづくり企業の紹介

■北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

■賛助会員の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPR←募集中>
NPO-KTS通信Vol.22広告7-8

株式会社 **メタルテック**

金属製品・外装パネル・ルーバー
光触媒工事・親水・防汚機能外装工事
福祉施設・病院工事・防音手摺工事・防カビ工事

光が当たらなくても、親水性発揮!!

雨が降るだけで汚れが落ちる
金属製防汚パネル

メタルウエットパネル
Metal Wet Panel

〒810-0012福岡市中央区白金1-9-3
Tel:092-523-1513 Fax:092-523-1532 URL <http://www.metaltech.jp/>
E-mail:metaltech@poplar.ocn.ne.jp

おかげさまで
生誕100年
CHIGUSA 2014

“2014年に生誕100周年を迎えます”

千草ホテル
Chigusa Hotel

北九州市八幡東区西本町1-1-1
TEL093-671-1131
<http://www.chigusa.co.jp>

Topics.3 中小企業のビジネスマッチング推進と成果

■中小企業テクノフェアin九州2013

担当 藤原利久理事

(公財)西日本産業貿易コンベンション協会(以降協会という)よりの「中小企業テクノフェアin九州」のビジネスマッチン(以降BMという)受託事業は5年連続となった。

協会の全国に渡る営業力により40社出展の内、地域は北海道・東京から5社(13%)、福岡県16社(40%)、産業は環境・バイオ・省エネ15社(38%)、機械・金属加工8社(20%)など盛況であった。特殊加工・検査・バイオ・セラミック塗装・高級材料など技術的にも高い企業も多かった。KTSの地道なBM活動による頼られる存在や知名度が少しでも貢献できたのであれば誠に幸甚である。

今年は5年連続の節目であり、実績重視・人脈拡大の活動を目指し、KTSの活性化も意図した新人コーディネーター5人を含む過去最大の17名が活動した。図に示す通り、年ごとに向上しており、今年は面談・商談件数(242件)、来場訪問企業(109社)、延べ出展企業紹介数(979社)など従来の1.5倍以上の過去最高の実績を残すことができた。これもひとえに協会の先手を打つKTSへのご指導・ご協力やコーディネータの献身的協力のお陰である。



協会アンケートによるBM支援の有効性も過去最高の60%であるが残り40%は改善余地があり、まだまだ研鑽を行いBMの実力を上げる必要がある。

今後、説明会等の出展企業の理解に努め、BMの質向上への「改革・絞り込み」、「チーム力」の育成さらには出展企業のニーズやシーズの調査を行い出展企業の誘致等行うなどやることは多い。今年は4月から検討会をスタートする。

また、北九州商工会議所(昨年入会)とのアドバイザー制度によるKTSの不得意な「サービス産業」と得意な「ものづくり」の協働を図るなど分野・智恵を広げてBMIにも有効に活用したい。

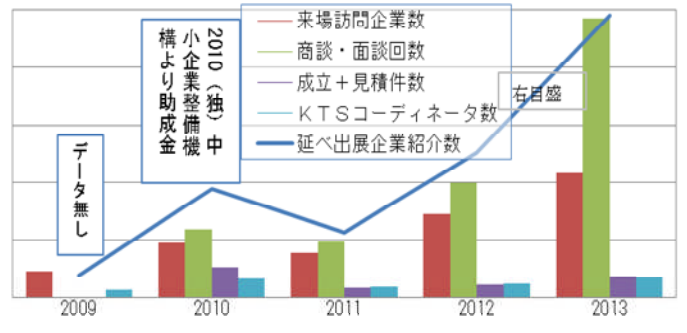


図-1 「中小企業テクノフェアin九州」の5年間の実績

産業用ロボット基礎技術の人材育成教育を推進する

ものづくりの街北九州市は、官営八幡製鐵所の開業に始まり公害問題の発生とそれからの回復し国際環境都市宣言をするまでになった。しかし、ものづくりに関しては東京・大阪・名古屋・その他の都市に対して大きく後れをとっている。

平成23年度から北九州活性化協議会が音頭をとり「北九州産業人材育成フォーラム」を立上げ推進している。その中でもKTSが協働している3大学・1高専のインターンシップの実績は素晴らしく企業の協力も得られ推移している。

昨今、産業界(製造業)では、国の内外を問わず、多数の産業用ロボットが活躍している。その活躍分野は広く、多岐・多様(溶接、組立、塗装、搬送等)に使用されている。そこで、学生の「ものづくり」技術・技能支援の一環として、当KTSも産業用ロボットの実技・実習を工業高校、高専、大学等の学生を対象として各学校へ「出前授業」を企画しております。

目的:若者たちに「ものづくり」への関心と興味を持ってもらい産業人材育成に貢献する。

特徴:技術者・熟練技能者による基礎理論と実技(操作)を組み合わせ指導する。

効果:学生の就職活動、就職即戦力化、産業ロボットのすそ野拡大等に成果が期待。

テーマ:「実践に役立つ産業用ロボット」の基礎講座

実機用の可搬式小型ロボット(取扱い重量=3kg、6軸、多関節型)を検討中。

終了後はKTSが「終了認定書」を発行し、「就職活動」に役立てていただく等。



北九州地域のモノづくり企業の紹介

■北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

■協力会員の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPR←募集中>
NPO-KTS通信Vol.22広告9-10

MATSUSHIMA MACHINERY
LABORATORY 製品情報

- レベルメータ
- レベルスイッチ
- 粉体測定機器
- コンベヤ周辺機器
- 制御機器
- アクチュエータ

代表取締役社長 松島 徹
株式会社 松島機械研究所

本社 北九州市八幡西区大字則松461 〒807-0831
TEL 093-691-3731 FAX 093-691-3735
http://www.matusima.co.jp

完全国産化した、パルスレーダー式マイクロ波レベル計

微美 創造企業
MEMS SOLUTION

【事業:超精密金型部品の製造】

我々は、「超精密」にこだわり、お客様に喜んで頂ける製品を、常に作り続けることを経営の柱にしています。「どうしたら、急速に変化する市場ニーズに対応できるのか?」思考を繰り返し、知恵を出し、現状の枠にとられない広い視野で、夢のある物作りを実現して行きたいと考えております。これからも「お客様の喜び=我社の喜び」を追い続けていきます。

株式会社ワークス 代表取締役 三重野計滋(みへの けいじ)
〒811-4321 福岡県遠賀郡遠賀町大字虫生津1445 Tel:093-291-1778 Fax:093-291-2728
E-mail:info@wks-co.com http://www.wks-co.com

中小企業が期待するKTSの支援活動紹介

■産学連携支援活動

Gr.長 影山隆雄

北九州地域では中堅・中小企業の経営力強化とイノベーション力向上のための産業人材の育成が強く求められています。しかし、地域大学・高専卒業生の地元就職率の低迷や中堅・中小製造業における研究開発人材の不足という問題があります。

この課題解決のため、平成23年、(公財)北九州活性化協議会が事務局となって「北九州地域産業人材育成フォーラム」を設立しました。その中で、NPO法人北九州テクノサポート(KTS)が「地域連携型インターンシップ事業」など北九州の産業人材育成の基盤固めの中枢を担って活動を展開しています。平成25年度は、KTSのコーディネーターを前年度の5名から12名に増やして企業開拓支援活動を行った結果、研修受入登録企業数が64社から80社に拡大し、研修参加学生数も145人に上りました。

また、福岡ものづくりアドバイザー事業の登録アドバイザー14名のうち11名がKTSの会員であり、県内ものづくり企業の基盤技術・技能分野で指導経験のある人が課題解決の支援をしており着々と成果が上がりつつあります。平成25年度は、これまでの依頼に延べ22回派遣し指導助言を実施して来ました。



産業人材育成フォーラムセミナー風景 H25.3.11

■販売支援活動

Gr.長 山本倅輝

平成21年からスタートした中小企業テクノフェアでのビジネスマッチング事業も今年で5年目になり年々その成果が上がってきています。

即ち、会員参画人員は7名から17名へ、展示企業は36社から40社へ、訪問企業は33社から168社へ、それに伴って商談も増えています。



NPO-KTS展示ブース H25.10.16~18

一方個別販売支援事業も2社を対象にスタートし、室内ゲーム機拡販は企業訪問実施中で、画像検査機販路開拓は契約締結及び訪問先を調査中で今後よい成果を上げてグループ事業の柱として取組んでいきます。

■環境技術支援Gr

Gr.長 藤原利久

環境は北九州のシンボルであり、非常に幅広い分野を包含し、今や儲かる産業になることが期待されている。KTSはものづくりを経験した多くの人材を有しており、約70名の会員の中で本Grは21名(30%)に達する。

「中小企業テクノフェアin九州」におけるビジネスマッチング(BM)支援活動の改革(公財)西日本産業貿易コンベンション協会からの受託も平成26年度は、連続6年となり知名度も向上し、出展企業誘致の大きな柱となっています。出展企業の40%が環境・バイオ・省エネに関する企業ですので本Grとしてもやり甲斐があります。BMの質への改革の年と考え4月より活動開始です。販売支援GrやEA21Gr及び北九州商工会議所との協働などにより更に出展企業や会員の力になれるように努力します。

■IT支援活動

Gr.長 安東 静

中小企業へのIT支援事業として、八幡西区企業のホームページ新規作成支援、小倉北区の公的NPO法人のホームページ更新作成支援を実施した。NPO-KTS内IT支援として、当NPOのホームページについて、定款の訂正、会長メッセージの改定等を実施、また当NPOのパソコンを更新し、セキュリティの強化を実施した。

北九州地域のモノづくり企業の紹介

■北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介いたします。

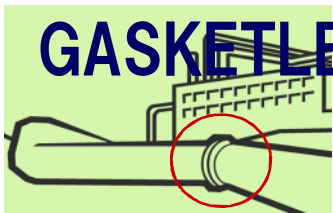
■協力会員の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPR←募集中>
NPO-KTS通信Vol.22広告11-14

GL PIPE JOINTS 好評です

GASKETLESS管継手

■パッキンのいらない



新製品賞
'99中小企業
優秀新技術新製品賞

福岡県知事賞
中小企業先端技術展
福岡県知事賞

■北九州市八幡東区西本町4-5-1

TEL:093-681-7195/ FAX:681-7196

E-mail:pd-otsuji@daiso.bz

URL <http://www.daiso.bz/>

口ご質問・お問い合わせは→専用FAX:093-681-7197

The Creative Corporation
株式会社 大創

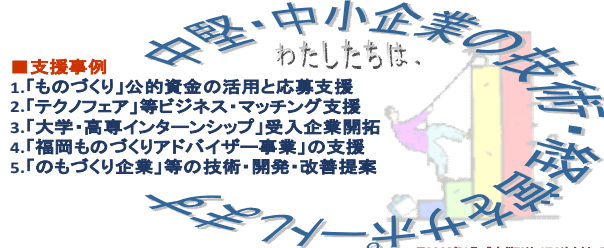
NPO-KTS NPO法人 北九州テクノサポート



■企業の困りごとの「かけ込み寺」としてご利用下さい!

正会員・賛助会員募集中

◆私たちは、企業の研究開発・販売支援を積極的に推進しております。



■支援事例

- 1.「ものづくり」公的資金の活用と応募支援
- 2.「テクノフェア」等ビジネス・マッチング支援
- 3.「大学・高専インターンシップ」受入企業開拓
- 4.「福岡ものづくりアドバイザー事業」の支援
- 5.「ものづくり企業」等の技術・開発・改善提案

■2009年4月 北九州T8は、NPO法人としてスタート

自動車用ボディ関係の板金プレス金型設計・製作で
世界をリードする金型専門メーカー



Uchida Co., Ltd.
株式会社 ウチダ

代表取締役社長 内田 末男

九州工場 〒823-0011 福岡県宮若市宮田542-38

TEL (0949)33-3145 FAX (0949)33-3146

本社 〒574-0055 大阪府大東市新田本町12-6

TEL (072)874-3377 FAX (072)874-3839

E-mail: info@uchidanet.co.jp

URL: <http://www.uchidanet.co.jp>



ミーム
(未夢)



道路トンネル検査点検専用車両



計測検査株式会社

北九州市八幡西区陣原1-8-3

TEL:093(642)8231

FAX:093(641)2010

<http://www.keisokukensa.co.jp>

大光炉材株式会社

12月3日、小林理事が同社を訪問し、今年5月に就任された小林仁志社長と平川執行役員からお話を伺いました。戸畑の本社は、本社事務所、炉材研究所およびファインセラミック製造工場で構成されており、炉材は大分と君津で製造されています。

■会社の沿革と業況

同社は、1954年4月創立以来約60年間、「不定形耐火物」専門メーカーとして、鉄鋼業等のニーズに合った製品を提供し続けてきました。競合他社に鉄鋼メーカーの関連企業が多い中、独立資本で生き残ったのも、卓越した技術力とお客様のニーズに真摯に耳を傾け、様々な提案や問題解決に対応していこうという心構えが社員に浸透してきたからだと思われまます。

このところの鉄鋼業界の生産増に呼応して、出荷は堅調に推移していますが、原料の高騰や販売単価を抑えたこともあり、利益率は芳しくありません。今は我慢の時と考えている。

■今後の展開と課題

今後も「技術の深堀」を最重点に取り組んでいきたい。そのためには、この業界で解明されていない各工程におけるメカニズムに対するデータ解析や科学的な検討、欧米情報の入手・研究等、やるべきことは多々あります。それらに優先順位をつけ、着実に対処していきたい。

また、海外展開としては、東南アジアなどの鉄鋼工場に付随する耐火物工場への技術支援策を中心に考えていきたいとのこと。

■KTSへの期待

社長からは、EA21のメインテーマである「環境」を核として企業間の交流を図ることを考えてはいかがでしょうか？というご提案をいただきました。

市が現在推し進めておられる「環境」への取り組みは、国内はもとより海外に対してもアピールできる重要なポイントと思われまます。これを推し進めるために、KTSも活動されては？というご提案でした。



小林仁志社長



本社社屋

株式会社 ウチダ

昨年12月10日、石川理事が同社 九州工場を訪問し、大原取締役 統括部長より懇切丁寧なお話をお聞きした後、工場見学を行った。

■会社の沿革と業況

同社は、1934年内田鉄工所として大阪市内に創業、1965年に自動車用部材等のプレス金型に特化して大東市へ本社を新築移転して現在に至っている。2007年10月九州工場を稼働、地元のトヨタ九州(株)、ダイハツ九州(株)をはじめ、日産・ホンダ・スズキ等の自動車用部材のプレス金型を各プレスメーカー((株)フタバ伊万里、豊田鉄工(株)等々)へ納入している。同社は「高張力のウチダ」と称されるように業界でいち早く自動車の強度部材用にハイテン材の使用を可能とするプレス金型を開発・提供し多くの使用実績を積重ね、プレスメーカーから絶大な信頼を得ている。

■今後の展開と課題

同社の技術力を存続・発展させるのは“人”であり、人材の育成確保こそ同社にとって最重要事項であると考えている。その一環として「北九州産業人材育成フォーラム」に毎年参加して九工大をはじめ、西日本工大、北九州大国際環境工学部、北九州高専の学生のインターンシップ受入れを実施している、大原取締役より、若手社員は「教える・伝える」ことの難しさを体験して技術力研鑽に励みがかかったとのことをお伺いし、「技術・技能の伝承」に絶えず努めている同社の意気込みを感じました。

■KTSへの期待

(株)ウチダは、年々高度化する金型技術を伝承しつつ、どこにも真似のできない独自技術を維持・発展させていく必要があります。そのために計画的に良い人材を採用し、育成していく必要があります。KTSには今回インターンシップで九工大をはじめとした大学・高専との関係構築につき支援して頂いたが、更に今後共、金型技術の新規開発課題を検討中であり、この面でも今後、支援を頂きたいと考えています。



大原取締役



九州工場生産現場

◇会社概要

■本社・工場 北九州市戸畑区牧山新町1-1 TEL:093-871-1631
代表者 代表取締役社長 小林仁志 設立 1954年4月
資本金 5,000万円 従業員 170名(正社員)
■事業内容 不定形耐火物および、ファインセラミックスの製造販売、研究
URL <http://www.taiko-ref.com>

◇会社概要

■本社 大阪府大東市新田本町12-6 TEL:072-874-3377
代表者 代表取締役社長 内田末男 設立 1964年4月
資本金 3,000万円 従業員 130名
□九州工場 福岡県宮若市宮田542-38 TEL:0949-33-3145
■事業内容 自動車用ボディ関係の板金プレス金型設計・製作・販売
URL <http://www.uchidanet.co.jp/>

■会員・賛助会員の募集(当法人は、会員の会費で運営されております)

企業の第一線をリタイアされた方の第二の人生を地域社会発展のために貢献・恩返ししてみませんか…? 皆さん方が持っておられる知識・技術・経験・人脈は、次の社会に伝えなければならないし、それは義務でもあり権利でもあります。これから本格的社会貢献の時期なのです。当NPO法人を利用して、地域社会の潤滑剤として役立てて下さい。

■会員・賛助会員の会費

・正会員入会金:5,000円/年会費:5,000円
・賛助会員(法人)入会金:10,000円
年会費:20,000円/1口
(個人)入会金:5,000円
年会費:5,000円/1口

■プラスα:「中小企業における新製品開発資金調達について」

(国や地方自治体が行なっている中小企業向け施策「助成金・補助金」を利用してみませんか?)

…新製品開発は、企業経営にとって重要な課題の一つです。そこで、皆さん方も良くご存知の助成金・補助金などの利用を考えて見ては如何でしょうか。新年度が4月からスタートしますが、この時期を皮切りに公募が始まります。応募するには即準備に取り掛かってください、公募が始まってからの準備では間に合いません。ただ、書類をつくるのが面倒だと思っている中小企業さんの方も多いのではないかと思います…?その時は、当NPO法人にご相談下さい。

⇒当NPO法人は、64名のシニア技術者集団です、その中から貴社ニーズに合った専門家が適切にサポート対応します。



＜詳細情報は下記ホームページから＞

<http://www.npo-kts.org/>

賛助会員の申し込み受付中

ホームページから申込用紙をダウンロードして下さい。
技術開発・環境経営の発展を支援します。

NPO法人 北九州テクノサポート

会報「北九州テクノサポート通信Vol.22」

平成26年1月10日 印刷発行

●発行・編集:NPO法人北九州テクノサポート

北九州市戸畑区中原新町2番1号 北九州テクノセンタービル8F806号室

TEL/FAX:093-873-1453 E-mail:npo-kts@npo-kts.org